

- WGを通じて検討してきた3Dデジタルマップの全体構造、データ仕様、システム仕様、事業スキーム等を要件定義書案として整理

要件定義書 骨子案		記載概要
1. 3Dデジタルマップ整備・運用の基本要件	1.1 基本方針	都・民間連携での整備、官民連携データプラットフォームとの連携等の方針
	1.2 対象範囲	3Dデジタルマップの全体像、都が実施する範囲、官民連携データプラットフォームとの役割分担
	1.3 ロードマップ	実現ステップ（フェーズ）の設定
2. 業務要件	2.1 基本方針	行政業務～スマートシティ、民間ユースケースにも幅広く利用していく等の方針
	2.2 想定ユースケース	想定される利用場面、将来像も含めたユースケース
3. データ整備・運用要件	3.1 基本方針	3Dデジタルマップの定義、基本的な考え方
	3.2 データ要件	整備・更新のデータ仕様（品質、更新頻度等も含む）の構成、詳細仕様
4. システム整備・運用要件	4.1 基本方針	対象システムの定義（職員向け、公開用）、基本的な考え方
	4.2 機能要件	閲覧、編集、インポート／エクスポート、連携等の要件
	4.3 非機能要件	可用性、性能・拡張性、運用・保守性、移行性、セキュリティ、エコロジー等の要件
	4.4 データベース要件	取扱うデータ種類（図形、属性、画像、ファイリング）、DBMSに求められる要件
	4.5 ハードウェア要件	推奨CPU、メモリ、ハードディスク、外部インターフェース等の要件
	4.6 ネットワーク要件	対象ネットワーク、推奨通信容量、セキュリティ対策等の要件
	4.7 保守要件	定期保守、バックアップ、障害対応等のサービスレベル定義
5. 整備・運用スキーム	5.1 基本方針	都、官民、民間等の役割の考え方
	5.2 整備・運用スキーム	対象データ・事業ごとに適用するスキームの選択肢
6. 整備・更新・提供にかかるルール	6.1 個人情報保護・プライバシーに係るルール	個人情報やプライバシーにかかる考え方、対処法
	6.2 知的財産権に係るルール	知的財産権にかかる考え方
	6.3 利用及び第三者提供に係るルール	利用及び第三者提供にかかる考え方、官民連携データプラットフォームのポリシーとの関係
7. スケジュール	7.1 整備・運用スケジュール	スケジュールの提示

第4回WGに向けたとりまとめの方向性（案）

- 情報基盤としての3Dデジタルマップの実装に向けた描くべきロードマップの方向性について議論

都市の3Dデジタルマップの実装に向けたロードマップの検討イメージ例

【対象エリア】

- ・都全域
- ・地域区分・ゾーン
- ・区市町村都計単位
- ・拠点地区・周辺地区
- ・街区・地区計画
- ・施設単位

詳細度

特定エリアや施設でユースケースを踏まえた詳細度

ユースケースやスケールに応じた詳細度、更新箇所でのバージョンアップ

データ連携による属性情報の拡充、3Dマップ自体の拡張

更新頻度

計画的なデータ更新

年単位の更新、一部リアルタイム化

即時性を高めるための更なる取り組み推進

データリソース (比率)

行政業務・施策で整備・利用が想定されるデータ

行政

民間

詳細度や更新頻度を高めるのに有効な民間データを積極的に活用

短期

中期

長期

- ・5Gサービス展開
- ・自動運転(レベル2・3)市場化
- ・測位システムの高度化

- ・ローカル5G本格化
- ・自動運転(レベル4)市場化
- ・ドローン飛行(レベル4)実現

- ・6Gの事業化
- ・自動運転(レベル5)開発・実用化